

国語一 7（第2学年） 神話・伝承などの読み聞かせを聞いたり発表し合ったりする事例  
【学習活動の概要】

1 単元名 言い伝えられているお話を楽しもう		
2 単元の目標 神話や伝承の読み聞かせを聞いたり読んだりして親しみ、おもしろかったところを友達に発表することができる。		
3 評価規準 【国語への関心・意欲・態度】 ・神話や伝承に描かれている世界に興味をもち、お話の好きなところを進んで発表しようとしている。 【読む能力】 ・神話や伝承を様々に読んで、好きなものや興味のあるものを選んでいる。 【言語についての知識・理解・技能】 ・神話や伝承の本や文章の読み聞かせを聞いたり自分で読んだりして親しみ、おもしろかったところを友達に発表している。		
4 教材 「でいだらぼっちのお話」「いなばのしろうさぎ」「やまたのおろち」「海さち山さち」 他 神話や伝承を取り上げた本や文章		
5 主な学習活動 (1) 単元計画（全4時間）		
時	学 習 活 動	言語活動に関する指導上の留意点
1	①「でいだらぼっちのお話」の読み聞かせを聞き、地域の伝承について知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な伝承を知り、学習の見通しをもてるようにする。</li> <li>・伝統的な言語文化としての神話に親しめるようにする。</li> <li>・お話のもつ雰囲気に触れながら興味をもったりおもしろいと思ったりしたところを発表できるようにする。</li> </ul>
2	②「いなばのしろうさぎ」の読み聞かせを聞き、興味をもったところを発表し合ったり、クイズを通して親しんだりする。本時 2 / 4	
3	③「やまたのおろち」「海さち山さち」の読み聞かせを聞き、感想を発表し合う。	
4	④神話や地域の伝承の本や文章の中から、おもしろいと思った本を選び、友達と発表し合う。	
(2) 本時の学習		
①「いなばのしろうさぎ」の読み聞かせを聞く。 ○教師が、「いなばのしろうさぎ」の絵本の読み聞かせをする。		
② 読み聞かせ後の感想を交流し合う。 ○どこがおもしろかったかなどについて感想を発表させる。		
③ クイズをする。 ○クイズをして伝統的な言語文化としての神話に興味をもてるようにする。 ・登場人物やその人物の行動、場面の様子やあらすじなどにかかわるクイズを出す。 ・難易度の高い問題は3択にするなど、全員が参加できるように配慮する。		
④ おもしろかったところ、興味をもったところを発表し合い、本時のまとめをする。		

## 【解説】

### 【指導事例と学習指導要領との関連】

- 小学校学習指導要領・国語の第1学年及び第2学年〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕「ア 伝統的な言語文化に関する事項」の「(ア)昔話や神話・伝承などの本や文章の読み聞かせを聞いたり，発表し合ったりすること。」に重点を置き，「C 読むこと」の指導事項「カ 楽しんだり知識を得たりするために，本や文章を選んで読むこと。」を関連付けることにより，効果的な指導を行うことを意図したものである。

その際，「C 読むこと」の言語活動例「イ 物語の読み聞かせを聞いたり，物語を演じたりすること。」と組み合わせ，読み聞かせを一層重視することで伝統的な言語文化に親しむことができるよう工夫している。

- 伝統的な言語文化としての昔話や神話・伝承の指導のポイント

昔話や神話・伝承は，国の始まりや形成過程，人の生き方や自然などについて，人々のものの見方や考え方が，長い歴史の中で口承あるいは筆記された書物として，古代から現代に受け継がれてきたものである。基本的な特徴として以下のことが挙げられる。

#### □ 昔話

「むかしむかし，あるところに」などの言葉で語り始められる空想的な物語であり，特定または不特定の人物について描かれる。

#### □ 神話・伝承

一般的には特定の人や場所，自然，出来事などと結び付けられ，伝説的に語られている物語である。

神話・伝承については，古事記，日本書紀，風土記などに描かれたものや，地域に伝わる伝説などが教材として考えられる。その際，児童の発達の段階や初めて古典を学習することなどを考慮し，易しく書き換えたものを取り上げることが必要である。

低学年の指導のポイントとして，次のことが挙げられる。

- ・読み聞かせを聞くことで，伝統的な言語文化に触れることの楽しさを実感できるようにする。
- ・お話のおもしろさに加え，独特の語り口調や言い回しなどにも気付き，親しみを感じていくことを重視する。

### 【言語活動の充実の工夫】

#### ①「読み聞かせを聞く」言語活動との組み合わせで親しみを増す

伝統的な言語文化には，口づてに伝承されてきたものも多い。独特の語り口調を味わうには，読み聞かせが効果的である。また，読み聞かせを聞くことで，より多くの昔話や神話・伝承に触れることが可能となる。児童が伝統的な言語文化に親しむことができるようにするためには，できるだけ多くの作品に触れていく中で自然に興味をもてるようにすることが有効である。

#### ②面白いところ，好きなところを選ぶ場を設定する

伝統的な言語文化に親しむ上で，自分がおもしろいと思ったところ，好きなところを見つけて読んだり，読み聞かせを聞いたりすることが大切である。「C読むこと」の指導と関連させて指導することによって，指導の効果を一層高めることが考えられる。

#### ③地域に伝わる昔話や神話・伝承の教材化

地域には昔話や神話・伝承が様々な形で伝わっている場合も多い。そうした伝統的な言語文化を教材化することによって，一層親しみをもてるようにすることが可能となる。

なお，読み聞かせには，地域の語り部の協力を得られるようにすることも効果的である。語り部からお話を聞くことで，地域の言葉を生の声で聞くことができる。さらに地域への愛着を育て，興味をもって地域の民話を楽しむことができるようになる。